

ふくい新試験研究炉利活用促進研究会 令和7年度 活動計画

令和7年8月25日

福井県

目的

- ・新試験研究炉に関する情報提供、中性子利用に必要な支援体制の構築
- ・地元が必要と考える実験設備や利用促進体制の取りまとめ、国等への提言

事業内容

- ① **新試験研究炉の利活用促進に向けた情報共有、検討**
 - ・既存研究炉等における研究成果や産業利用事例の情報共有、活用策検討 など
- ② **県内企業等による既存研究炉等を活用した中性子利用の推進**
 - ・利用相談窓口の設置、既存研究炉等の利用に対する経費補助、実験サポート など
- ③ **新試験研究炉の整備・施設や利用促進体制に関する提言**
 - ・新試験研究炉本体や実験装置、関連施設、利用促進体制などに関する要望事項を提言として取りまとめ

研究会の構成

研究会総会

活動計画の策定・実施、規約の改定、提言の取りまとめ

企画検討委員会

研究会の運営等の統括

※講習会のプログラムや総会の議題等について検討

分科会

研究会の特定の課題等について検討

※実験装置ごと、産業分野ごと など、必要に応じて立上げ

今年度の活動計画

研究会	項目	第 1 回	第 2 回
企画検討委員会	時期・場所	7月10日（水） WEB開催	11月頃
	議題	・今年度の活動計画（総会、分科会） ・新試験研究炉の概要 ・国等への提言取りまとめの進め方	・R7提言事項取りまとめ ・総会付議事項
分科会	時期・場所	8月4日（月）〈設立会議〉 アオッサ（福井市）	11月頃〈分科会毎開催〉
	議題	・分科会の趣旨、構成、活動計画 ・国等への提言取りまとめの進め方 ・分科会別課題と既存研究炉における事例調査	・該当分野の利用事例分析 ・他の量子ビームとの比較 ・参加企業の個別課題分析 ・各分科会からの提言案
	講演	「まず知ろう！中性子の性質とご利益を！ そして創ろう未来のビジョン」 （福井大学 武田特任教授）	
総会	時期・場所	8月25日（月） あいあいプラザ（敦賀市）	1月頃
	議題	・今年度の活動計画（総会、分科会） ・国等への提言取りまとめの進め方 ・新試験研究炉の検討状況	・R7提言取りまとめ ・新試験研究炉の検討状況
	講演	「大強度陽子加速器J-PARCでの中性子産業利用」 （茨城大学 小泉教授） 「日華化学における研究開発活動への量子ビーム 活用の試みと新試験研究炉への期待」 （日華化学 稲継取締役）	・学術界の期待、要望

分科会の構成

分科会名称	参加企業数※	主査
機械・建設分科会	5 社	福井大学 附属国際原子力工学研究所 宇埜所長・教授
原子力分科会	7 社	福井大学 附属国際原子力工学研究所 福元教授
繊維・化学分科会	1 3 社	福井大学 工学系部門 平田講師
電気・磁気分科会	7 社	福井大学 工学系部門 浅野教授

※ 複数の分科会への参加可

分科会の議題案（R7～8）

回次、時期	議 題※	要望までのステップ°
設立会議 令和7年8月	・ 分科会の趣旨、構成、活動計画 ・ 国等への提言案の取りまとめ方針 ・ 中性子と試験研究炉の基本	【Step1】 基本的事項の紹介
第1回 令和7年11月	・ 該当分野における利用事例の分析 ・ 他の量子ビーム利用との比較、併用 ・ 参加企業の個別課題の分析 ・ 各分科会からの提言案	【Step2】 分野別の事例紹介
第2回 令和8年6月	・ 各分科会における共通課題の検討 ・ 中性子を含む量子ビームによる対応検討 ・ トライアルユース検討	【Step3】 地元の利用ニーズ検討
第3回 令和8年11月	・ 新試験研究炉および周辺施設への要求事項 ・ 各分科会からの提言案	【Step4】 対応する中性子技術の整理
		【Step5】 技術・装置への要求整理
		【Step6】 実験装置・周辺施設への 提言整理

※ 以降の議題については分科会毎の議論の進展等に応じて検討

国等への提言取りまとめの進め方（案）

- 新試験研究炉の原子炉本体・実験装置や複合拠点等の計画・設計・運営等に地元の意見を反映するため、地域振興等の観点から、新試験研究炉の利活用促進につながる意見・要望等を提言として取りまとめる。
- 提言は、企画検討委員会において分科会を含む研究会会員の意見・要望等を取りまとめ、総会の承認を得て、年1回、研究会会長より福井県に提出する。
- 提言の取りまとめは以下の分類を基本とし、寄せられた意見・要望等に応じて調整する。
 - ① 原子炉本体・実験装置の設計や地元の利用ニーズを踏まえた周辺機器・利用条件など実験環境の整備に関すること。
 - ② 複合拠点や中性子によらない汎用的な実験装置など利便性向上に向けた周辺施設の機能、設備に関すること。
 - ③ 中性子利用に関する普及啓発やトライアルユース制度・伴走型連携体制など利用促進策に関すること。
- 取りまとめに当たっては、原子炉・実験装置ならびに複合拠点の計画・設計・運営等への反映に向けて適切な時期に提言を行えるよう、適宜、詳細設計の進捗状況等を踏まえながら、仕様等が早期に定まる施設・設備等に関する議論を優先的に進める。

(参考) これまでに出了た意見・要望

分類	ふくい新試験研究炉利活用促進研究会 設立総会(3/13)、分科会設立会議(8/4)	過去のアンケート
①実験環境の整備に関する こと	● 建設スケジュールの定期的配信 ● 産業・工作機械や部品の透視（紡糸ノズルや押し出し機の内部など）	● 早期建設、スケジュールの提示 ● 放射化された試料の測定・分析が可能な実験環境整備
②周辺施設の機能、設備に関する こと	● 複数の実験装置を用いた研究開発のコーディネート機能やワンストップサービス	● 施設・装置の利用手続きの簡略化 ● X線小角散乱装置や走査型電子顕微鏡など汎用的な装置の整備
③利用促進策に関する こと	● 新試験研究炉完成までの継続的な情報提供や支援制度の拡充 ● 経済団体や公設試、大学等を含む連携体制の構築 ● ポータルサイト等による研究会活動・成果の可視化および会員同士の理解・連携の深化 ● 地元企業における中性子利用の裾野拡大（既存研究炉の利用促進など）や若手研究者への情報伝達、教育 ● 実験データの評価や解析ツールの導入、専門家の伴走型連携や技術習得（講習会・研修会への参加等）に対する補助・支援 ● 中性子利用経験の無い地元企業等を対象とした支援制度の拡充や、計画的・継続的な利用が可能な枠組み	● 中性子利用等に関する他機関の実績・成果の共有 ● 定期利用しやすい料金設定 ● 新試験研究炉の利用ハードルの低下につながる支援・補助 ● 結果考察を含むワンストップサービス